

2学年通信

限界突破 ～更なる高みへ～



第5号

弘前中央高等学校 第2学年

令和4年 8月31日(木)

Classi / HP でもご覧いただけます

～齋藤郁子校長先生の始業式式辞より～

～8月は大雨による緊急事態に見舞われました。

本校でも、こんなことがありました....(以下校長先生の式辞より)～

夏休みが終わりました。どんな夏を過ごしましたか？ 夏の大雨は、県内各地に大きな傷跡を残しました。自宅が被災した人、農作物がだめになったお宅もあるかもしれません。被災された方には、心からお見舞い申し上げます。

弘前中央高校も、今回初めて避難所になりました。178名の方が利用されたと聞いています。今回の避難所で私が気がついたことを少し伝えたいと思います。

それは、弘前中央高校の危機管理能力の高さ、自主的に活動する力、人に寄り添う優しさです。弘前市では初めて全市に避難所設置となり、手が回らず大変だったようです。市役所の方が来て避難所が設置されるのですが、たくさんの人が先に避難してきました。先生方は「体育館にブルーシートを引いた方が良い」「扇風機を用意して少しでも避難者が楽に過ごせるようにしよう」「避難者用の物資を受け取れるなら、車で取りに行きましょう」と、次々アイデアを出し、実際に行動し避難所開設に力を尽くしてくれました。先生方に聞くと「自分がもし避難者だったら」と考えたと言います。避難所運営に協力してくれた中央生も居ました。弘前中央高校の生徒を中心に、高校生、中学生が受付の業務を引き受け、運び込まれた物資の移動を行ってくれました。椅子が不足すれば、取りに行く、高齢者の移動に手を貸すなど、「気づき、考え、実行」する姿をたくさん見ることができました。弘前中央高校の人たちが「いざ」というとき、自分で考え行動する力を持っていることをとても頼もしく思いました。避難所で直接頑張ってくれた皆さん、部活動を我慢して避難所を優先してくれた皆さん。本当にありがとうございました。

私は、学校で一番大切にしなければならないことは命を守ることだと思っています。そのために判断力を磨いています。私たちが学校で学び、正しい知識を得ること、そして正しい知識を得る方法を知ること、周囲の人の意見を聞くことで、正しい判断ができる人間に育っていきます。弘前中央高校での生活を通じて、みなさんは、確かに高い判断力を身につけているのだと、今回実感しました。2学期もさらに、自分の思考を鍛えましょう。今、自分たちにできることしなければならないことを考えて行動していきたいと思っています。私も迷いながら、みなさんと一緒に考えたいと思っています。

3年生のみなさんは、もう受験の真っただ中です。一人ひとりが自分の目標に向けて計画的に進んでいると思います。一人ひとりといいますが、受験は団体戦です。苦しいときだからこそ、周囲の人たちに思いやりをもって行動して下さい。自分だけで受験はできません。

1、2年生のみなさん。2学期は学びの時です。3年生の頑張る姿を励みにしながら、学校全体で学びを深めていきたいと思っています。

9月行事予定(2学年関係)

- 5日(月) JAICA 学校視察団来校 SakuraTime
- 6日(火) 生徒会役員選挙
- 8日(木) 2学年大学模擬講義 SakuraTime×2
- 19日(月) 敬老の日
- 20日(火) 自転車街頭指導
- 21日(水) 45分授業
- 22日(木) SakuraTime
- 23日(金) 秋分の日
- 24日(土) 青森県職員採用試験会場
- 25日(日) 青森県職員採用試験会場
- 26日(月)～29(木) 第3回定例テスト
- 30日(金) 球技大会(予定) (遠足は、感染状況を鑑みて中止)



～ 学年への連絡は直通電話が便利です～

Classiでの連絡の際、「体調不良」の場合には、「腹痛」「咽頭痛」「頭痛」など、「具体的な症状」の入力をお願いします。様々な判断の際に必要なになりますので、ご協力ください。

なお、風邪症状の場合、良くなってから48時間は登校できません。

連絡先 弘前中央高校(代表) 0172-35-5000

2学年直通 0172-35-4070

* お願い* 8時10分から職員の出迎えが始まります。

Classiへの入力、電話での連絡も8時10分までにお願いします。

2年進路講演会 講師：河合塾仙台校理事 佐々木一幸氏

Winning is a habit. Unfortunately, so is losing.

～勝利とは習慣なのだ。残念ながら敗北も同じ～

2年次までの学習姿勢が、受験に直結。3月までオーバーワークする。

「反復練習」を通じて「知識」を「常識」まで高める。教科書は授業のポイントを意識しながら30回は読む。「センス」とは「練習」を通じて身につくもの。

大学入試の専門家から最新の入試情報や学習に対するアドバイスを仰ぎ、生徒自身がそれぞれの学習方法を見直す機会として、講演会を実施しました。熱い語り口で私たちをぐっと引きつけ、その気にさせる佐々木さんの講演は、これまで1万人のものの受験生を合格に導いてきたご自身の経験に基づく、学習の本質を突いた内容でした。第一志望大学合格に向けた学習の仕方、共通テストの出題の特徴・実施概況、模試の活用、復習の効果、成績の伸び方などについて、資料をもとにわかりやすくお話しいただきました。その後、難関大学志望生徒約30名を対象にさらに1時間の心構えを教授いただきました。難関大合格の最大のポイントは「2年生までに基礎基本を徹底し、常識レベルまで引き上げること」。難しい問題というのは、いろいろな要素が複雑に絡み合った問題である。失敗する受験生の多くは、難しい問題ができないのではなく、得点できそうな問題でミスをする。まずは定例テストで90点以上を当たり前！などとまとめてくださいました。この講演で「学習は繰り返す」「習慣を身に付けた者が勝つ」というメッセージが伝わったと思います。

■ 連絡 ■ 10月8日(土)10:00～本校講堂において、第2学年PTA研修会を開催します。上記佐々木氏を迎えた進路講話、修学旅行、奨学金、学年の様子等の内容で計画しております。詳細が決まり次第ご案内いたします。